

Press Release

平成27年7月21日
日本公認会計士協会

第7回「公認会計士の日」大賞受賞者について

賞の概要

日本公認会計士協会では、7月6日を「公認会計士の日」と定めており、これにちなみ、平成21年に「公認会計士の日」大賞を表彰制度として創設しました。

本賞は、①会計、監査等に対する社会的関心の向上に貢献した者、②公認会計士制度の普及に貢献した者、③公認会計士の社会的地位及び知名度の向上に貢献した者に対し、その功績が顕著な者を表彰する制度です。

第7回「公認会計士の日」大賞についても、前回同様、公認会計士としての視点のみならず、広い視野に基づく多面的な選定を行うため、外部有識者を加えた選定委員会において選定を行いました。

第7回受賞者

大賞（1名）

■ふじぬま藤沼 つぐおき亜起 氏

選定理由： 藤沼亜起氏は、平成4年から国際会計士連盟理事、副会長を歴任し、平成12年5月からは日本人初の会長に選出され、平成14年11月の会長退任までの間、数々の改革案を実行し、国際会計士連盟の構造改革に貢献しました。また、平成17年2月からは、国際会計基準委員会財団（平成22年7月から「国際財務報告基準財団（IFRS財団）」に名称変更）の評議員に就任し、平成22年5月から平成26年11月まで副議長を務め、同財団評議員会の運営に大いに貢献しました。これら2つの国際機関において指導的な立場を担い、我が国の公認会計士の地位及び知名度の向上に大いに貢献したことを讃え、「公認会計士の日」大賞を贈ることとしました。

選定委員特別賞（1名）

■やまだ山田 しんや真哉 氏

選定理由： 山田真哉氏は、シリーズ化された『女子大生会計士の事件簿』など一般の興味を引き付けるタイトルの著作を数多く発表しています。日常の身近な疑問から会計の本質を分かりやすく解説し、会計に関する親しみやすい著述により、会計や公認会計士についての社会一般の関心の向上に大いに貢献しました。これらの貢献を讃え、「公認会計士の日」大賞選定委員特別賞を贈ることとしました。

選定委員会委員

「公認会計士の日」大賞選定委員会委員（敬称略）

委員長 釜 和 明（公益財団法人財務会計基準機構 理事長）
委員 引 頭 麻 実（(株)大和総研 常務執行役員 調査本部副本部長）
委員 高 田 敏 文（東北大学会計大学院 経済学研究科教授）
委員 山 田 治 彦（日本公認会計士協会 副会長）
委員 北 方 宏 樹（日本公認会計士協会 広報担当常務理事）

以 上